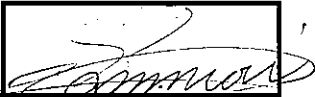


デイリーレポート

船長署名 

船 名	大 島 丸		情報発信日時	2024 年 11 月 10 日 12 時 00 分				
現 在 位 置	航海中	時	分	概位				
		<Lat.	-	N/S	Long.	-	E/W>	
	停泊中	12 時 00 分	概位		阪神港神戸区ポートアイランドA 棧橋			
		<Lat.	34 - 40.7	N/S	Long.	135 - 12.4	E/W>	
	錨泊中	時	分	概位				
		<Lat.	-	N/S	Long.	-	E/W>	
	操業中	時	分	概位				
		<Lat.	-	N/S	Long.	-	E/W>	
	観測中	時	分	概位				
		<Lat.	-	N/S	Long.	-	E/W>	
本船状況 気象海象	針路：	-	度	船速：	-	kt	天候：	bc
	風向：	ENE		風速：	4.0	m/s	視界：	7 浬
	波高：	0.2	m	風浪階級：	1	うねり階級：	0	
乗船者 状況	乗組員	現在員：	19	名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：						
	生徒	現在員：	10	名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：						
	指導教官	現在員：	3	名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：						
	支援員	現在員：	1	名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：						
○本船動静 Nil								
○避航・避難理由 Nil								
【学校側コメント】 昨日は、神戸入港後、直ぐに船長及び一等航海士からの講義がありました。その内容は学習予定表に明記しています。限られた時間内に要点を掴み具体的要素を交えて、分かり易く講義する実際は流石だと思いながら教室の片隅で拝聴させて頂きました。 昼食後、実習生は海洋博物館見学のため、外出して行きました。得るものが沢山あったと帰船早々教えてくれました。 本日は、午前中に航海長からの海上法規の講義があります。極めて重要な講義内容です。明日、出港して間もなくして通過する明石海峡航路。そして備後灘を航行し、備讃瀬戸東航路及び北航路。さらには来島海峡航路、そして関門航路と西行します。瀬戸内海を航海する上で通過する各航路についての講義です。これらが全てではありませんが、船舶が輻輳する瀬戸内海を航海する上で、事前に学習して、海図とにらめっこするように針路を確認し通過予定時刻を把握しておく。実際を行う前の講義は実習生には必要不可欠な講義となります。 神経を集中させ、明日の航海に活かせるよう、そして将来の自分自身のためにも、しっかりと取り組んで欲しいと思っています。午後には楽しみにしている自由上陸が待っていますから。								